

地域医療ネットワーク双方向化情報共有システム整備事業  
ご質問に対する回答一覧

2017.03.03時点

No.		会場またはメール等による質問	回 答	
1	参照期限	従来の晴れやかネットの同意書で同意取得した患者情報は、有効期限が設定されているが、双方向化に伴いこのあたりは変更あるのか？	双方向（シェアド）の有効期限については現在検討中である。救急での活用を念頭に、出来るだけ、短い期間でないことが望ましいと考えている。	2/2倉敷中央
2	参照期限	一度同意を得た患者の情報は有効期限なしにしてほしい。救急のとき困ることになる。患者にとっても困ることになるのだから、一度登録したらどこでも情報共有できており安心ですよ、と患者側に理解してもらえよう、アピールが必要と考える。	双方向（シェアド）の有効期限については現在検討中である。県民向けにも広報活動を充実していきたい。	2/2倉敷中央
3	同意方式	1つの診療所で情報開示に関する同意取得を行った患者については、その他の施設で保有している同一人物のすべての患者情報も開示できるようにしたら良いと思うのだが。	議論を行ったが、この運用開始時には情報保有施設1件1件に対して同意を得る方式で運用したい。患者の中には、この施設にある情報はいいが、別の施設のところに情報は見られたくない、という意向をお持ちの患者もいる。また、同一人物すべての情報を公開するのにシステムが対応していない。晴れやかネットには県内すべての施設が参加しているわけではなく、一部施設だけの情報に限られているということからも、ご質問のように、同一人物のすべての患者情報も開示できるようにするのは難しいため、各施設で同意を取る形としたい。ただし、しばらく運用してみて、この運用方法で課題がみられる、あるいは改善要望が出てきた段階で、見直しをしていきたいと考えている。	2/2倉敷中央
4	システム	情報開示設定を行った際に、見てほしい先にメール通知を行うことだが、我々診療所側にとっては直接メールで情報をやり取りできるほうが便利なのだが。	セキュリティの問題や法令等の問題により、今回の整備ではそこまでの機能は実現できていない。ただし、国の方では、今後このようなネットワークには、いろいろと機能を追加していくことへの予算化・補助交付の動きがあるため、うまくその波にはのって対応していきたいと考えている。	2/2倉敷中央
5	新規参加	この説明会は、現在晴れやかネットのIDを持っている施設に限定しているようだが、地域の医療を担っていくためには一層の地域の医療機関に参加していただくことが重要だと考えている。地域の医師会等へ参加呼びかけなど広げていかないのか。	3月末まではひとまず晴れやかネットIDをお持ちの施設に限定して説明会を行う予定だが、4月以降については地域の医師会等にも説明会開催や参加協力と呼び掛けていく予定である。	2/2倉敷中央
6	その他	地域の医療を担っていく上で、診診連携が重要となってくるのだが、シェアドによって双方向による診診連携ができるようになるのはありがたいことである。一方、従来の開示病院へ情報を見に行く方法は変わらないのか。	今のところは、従来の開示病院へ情報を見に行く方法は変わらない。ただし、シェアドはID-Link、HumanBridgeのいずれかのゲートウェイを持たない病院も今後開示病院として参画できる機能となっている。そのため、今後病院が参画してきたら、双方向での病診連携もできるようになる。	2/2倉敷中央
7	公開設定	患者は様々な施設に掛かれているのが一般的で、救急時はその掛られている先の情報がすぐに見れるようになるとありがたい。ID-Link、HumanBridgeは情報開示設定ができる人がいる日中しか開示依頼できないという課題があるが、シェアドも晴れやかネット事務局がいる日中しかできないのか。夜間はできないのか。	シェアドの情報開示設定自体は、各情報開示側で行うため、情報開示設定を行う診療所の先生が夜間にもいっしょであれば、夜間でも開示可能である。また、急変時にも対応できるように、多くの方から事前に同意を取っていただき、何か合ったとき、救急時などに役立てられるような使い方を積極的に進めていきたい。（取得した同意書の原本郵送については、緊急性を要するものではないため、取りまとめ後日晴れやかネット事務局へ郵送いただきたい）	2/2倉敷中央
8	新規参加	晴れやかネットを利用していない施設の中には、今後シェアドだけ利用したいという施設も出てくると思うのだが、シェアドのみ参加呼びかけや利用することは可能か。	晴れやかネットの加入が前提となり、シェアドだけの利用ではご参加いただけません。現在の開示51施設の公開する診療情報と、診療所等が公開する診療情報の両方の機能を使うことが、地域連携において非常に有用であることをご理解いただき、入会をご検討いただければと考えている。	2/2倉敷中央
9	その他	患者様が既に同意しているかどうか分かるようなトリガーはあるのか。	トリガーとなるもの(例として手帳、カード等)の導入については検討中である。	2/2倉敷中央
10	その他	現在、公開をおこなっている51施設は、シェアドの参照のために利用申込が必要か。	公開をおこなっている51施設については申込の必要はない。公開施設になっていないアップローダを設置する施設のみ申請を受け付けている。利用者IDがあれば今回の申込はなくてもシェアドを参照できる。	2/7岡山赤十字
11	開示施設	現在、地域連携サーバ(HumanBridgeまたはID-Link)で公開をおこなっているが、それとは別に、レセコンにしかない情報もアップロードBOXを設置して出力したほうがいいのか。	公開をおこなっている51施設については、現時点において十分な情報を公開しているため、今回のアップロードBOX設置の必要はない。	2/7岡山赤十字
12	システム	シェアドで画像情報の共有は可能か。	現在は画像情報は共有できない。来年度以降に検討していく。	2/7岡山赤十字
13	システム	シェアドで公開設定が完了した時点で、相手方にメール通知できる機能があるとのことだが、添付ファイルなどで診療情報を送ることができるのか。	通知メールには個人情報の観点から、患者氏名の記載や診療情報は記載できない。晴れやかネットにログインした際に対象者を確認いただく形になる。	2/7岡山赤十字
14	費用	アップローダBOXの設置にかかる費用は無料と聞いたが、ランニングコストは必要になってくるのか。会費は上がるのか。	本事業は、県の事業となっており、コストについては協議中である。レセコンから情報を出力する施設については、会費の値上げはしない方針である。	2/7岡山赤十字

No.		会場またはメール等による質問	回 答	
15	その他	マルチテナントへの外部保存は、バックアップという観点でも有用か。	BCP対策の観点からも、外部保存は有用であると言える。現在のマルチテナントサーバの領域は来年度以降、随時拡張していく予定である。	2/7岡山赤十字
16	アップローダ	アップロードBOXを設置するために、インターネット用のネットワークとレセプト用のネットワークをあらかじめ接続しておく必要があるか。	あらかじめ2つのネットワークを接続する必要はありません。アップロードBOXには2つのLANポートがあり、インターネット用、レセプト用のネットワークにそれぞれ接続できます。	2/7岡山赤十字
17	アップローダ	晴れやかネットのVPNを使ってアップロードするのか。	アップロードBOX自体にVPNが入っているので、晴れやかネットの参照に使うVPNとは別のVPNになる。平成26年の実証時のように晴れやかネットに接続しなければアップロードされないのではなく、アップロードBOXが自動で常時監視してレセコンから出力処理されたデータを取りに行き、アップロードを行なう仕組みになっている。	2/7岡山赤十字
18	その他	電子カルテに比べるとレセコンの情報は限られると思うのだが、それでも役に立つのか。	平成26年度の総務省実証時は、終末期医療での患者の連携が実際にあり、病院から在宅への切り替えがスムーズにいき在宅で患者を看取ることができたことから、非常に有効だった。病名はレセコン上の病名のため正確ではないが、薬歴を追えばおおよそ正確な病名を探ることができるため、レセコン情報でも十分に連携に活用できるものと考えている。	2/8高梁市役所
19	開示施設	基本機能で情報開示を行っているが、シェアメドでも情報開示を行う必要があるのか。	ID-Link、HumanBridgeを用いて情報開示を行っている病院は、そのままID-Link、HumanBridgeを用いての情報開示をお願いしたい。追加でシェアメドからレセコン情報を出していただく必要はない。なお、将来的には電子カルテの情報を開示できるよう機能整備をしていきたいと考えており、ID-Link、HumanBridgeを利用していない病院で、かつ電子カルテを導入している病院からの情報開示の道を設けたいと考えている。	2/8高梁市役所
20	アップローダ	療養病棟の入院基本料などが算定された場合に処方項目は包括されてしまうためレセプトには出力できない。このような場合でもレセコンから連携用のデータに処方データを出力する事ができるのか？	ベンダーごとに確認が必要となる。JAHISの医療情報基盤実装ガイドにはレセコンベンダーによって対応が異なる事が記述されている。	2/8高梁市役所
21	費用	アップロードBOXのデータ仕様に基いて、電子カルテ・レセコンからデータを出力するためのカスタマイズ費用は、各医療機関が負担するのか。また、その場合、電子カルテ・レセコンベンダーから見積りをもらうために、アップロードBOXへ出力するデータの仕様等は事前に提供していただけるのか。	電子カルテ・レセコンからデータを出力するためのカスタマイズ費用については、施設様の負担は原則ない。また、設置に当たっては、当協議会とベンダー間で協議をして進めていくため施設様で協議をしていただく必要はない。	2/14メール
22	費用	現在、閲覧施設と開示施設では晴れやかネットの利用料金が別個に設定されているが、シェアメド公開施設として参加した場合、開示施設の扱いになるのか。または別の料金体系が設定される予定なのか。	シェアメド公開施設の費用についてまだ決まっていない。現時点では、レセコンから情報を出力する分については、費用を追加することは考えていない。ただし、現在検討を始めている画像を含めた共有を行う場合には、ランニングコストの関係で別の料金体系を設定する可能性がある。	2/14メール、TEL
23	その他	シェアメドの公開範囲一覧に画像が含まれていないが、今後、画像連携の予定はあるのか。	画像連携については、実現へ向けて予算確保を行っている状況である。	2/14TEL
24	費用	アップローダBOXの設置にかかる費用は無料と聞いたが、アップローダ設置によって利用料(会費)はどうなるのか。	アップローダ設置によって利用料(会費)は上がらない。ただし、今後実装を検討している画像連携機能を利用する施設については、別の料金体系を設定する可能性がある。	2/21岡山大学
25	その他	スケジュールを見ると、電子カルテ導入施設への情報出力対応が先で、レセコンのみ導入施設への対応が後、という理解で合っているか。	逆である。レセコンのみ導入施設への情報出力設定を先行し、4月以降に電子カルテ導入施設への対応を行うスケジュールである。	2/21岡山大学
26	システム	この整備事業のメリットは、紙での紹介状のやり取りがなくなる、すなわち電子的に紹介状のやり取りもできるようになる、ということか。	電子的な紹介状のやり取りまでは今回実現できていない。そのため、従来通り紹介状については紙での運用を行っていただく必要がある。	2/21岡山大学
27	システム	アップローダでレセコン情報をアップロードしないと情報が見れないのか。レセコンから情報を自動的に出力することで見れるようになるのではないのか。	レセコンからの情報出力作業を行っていただければ、あとはアップローダがレセコンの情報出力場所へ定期巡回し、外部保存領域へ自動的に情報をアップロードする。ただ、これのみでは情報が見れるようにはなっておらず、情報をアップした施設において、同意書取得患者の情報の開示設定を行っていただくことが必要である。	2/21岡山大学
28	システム	上記情報アップを誰が実施するのか、という問題があり、情報アップ作業にどれくらいの時間を要するのか、またどれくらいのサイクルで情報アップを行う必要があるのか。	情報アップにかかる作業時間は、一瞬であったり、5分程度時間を要したりと、導入されているレセコンのメーカーや型番により異なる。ただし、どのメーカー・型番であっても全般的に負担にならない程度とは把握している。情報アップのサイクルは日単位、事務方がその日の業務終了後に実施して、帰宅いただくというイメージでいる。	2/21岡山大学
29	その他	この機能によって、情報を送る側の診療報酬上の加算算定基準を満たすことができるのか。	算定基準を満たすためには、中部・四国厚生局の見解によると、紹介状・検査情報・画像情報の3つをセットで送ることが必要である。シェアメドの現状の機能のみでは算定基準を満たしていない。今後画像については、情報連携できるように対応していく予定である。	2/21岡山大学
30	同意方式	同意書については、複数の施設で同一患者の情報がある場合、どこかで1枚同意書を取得すれば、すべての施設の患者情報が見れるようになるのか。それとも施設ごとに同意書が必要なのか。	情報を開示する施設ごとに同意書が必要である。	2/21岡山大学

No.		会場またはメール等による質問	回 答	
31	同意方式	ある施設の情報を見たいという時の場合は、従来の同意書取得方法と同じように、見る側の施設で同意書を取得し、開示してほしい先にFAXを送り、開示設定完了後にポータル経由でシェアードから情報が見れるようになる、という理解であっているか。	その通りである。	2/21 岡山大学
32	システム	A診療所に保管されている患者の情報が、開示されているかどうかを確認するにはどうすればよいのか。	ポータルにログインし、患者名や施設名などで検索を行うことで確認ができる。	2/21 岡山大学
33	同意方式	従来の開示病院51施設において、A病院で同意書を取得しB診療所に情報を開示する場合は従来の同意書様式・同意取得方式で良いと思うのだが、同時にB診療所の情報を開示してもらう場合は、新しい同意書様式による同意書の取得が必要ということか。すなわち、この場合は2種類の同意書の取得が必要ということか。	その通りである。	2/21 岡山大学
34	システム	セキュリティ対策がきちんと二重に対策されているのか	その通りである。アップロードBOXがレセコンから出力された情報をウイルスチェックし、連携情報を暗号化の後、VPN回線を使用してマルチテナントサーバに送信し、最後にマルチテナントサーバ内に格納する際にもウイルスチェックを行う。 なお、マルチテナントサーバ内の情報は、暗号化の状態での保管され、開示設定をした際に対象患者のデータのみ取り出し、開示領域に移動させることで安全な仕組みを構築している。	メールによる問い合わせ
35	システム	トラブルが生じた場合の対応と責任の所在はどうなるのか	協議会として参加施設およびシステム事業社の管理対象範囲について責任分界点を定めている。(運用管理規程ノ非公開)	メールによる問い合わせ
36	その他	情報のやり取りにおける保険請求は紹介状と同じ扱いとなるのか	紹介状を送付する機能は実装していない。なお、診療報酬のICT加算を算定するためには届出が必要となる。	メールによる問い合わせ
37	その他	コピー&ペーストが解禁されるのか	ならない。今後、必要に応じて検討していく。	メールによる問い合わせ
38	システム	資料2のスライド8の「利用できる職種について」だが、介護福祉士や社会福祉士が晴れやかネットID・PWを交付された場合は、シェアードの情報を閲覧することができるのか。	閲覧することが可能である。	2/24 笠岡第一
39	その他	同じく資料2のスライド8「利用できる職種について」、栄養士が対象職種として入っていないのと、看護師が対象職種に入っていない理由は何があるのか。おそらく国家資格で守秘義務が課せられている職種で設定したのだろうが、世の流れに逆行しており、地域医療の臨床現場からずれた設定を行っていると言わざるを得ない。 今後は地域包括ケアを推進していくという大きな流れの中、他府県の事例では職種の制限をかけないという運用を採用しつつあるのと、地域医療の臨床の現場では、准看護師や栄養士がいないと地域医療が成り立たないため、准看護師や栄養士に閲覧権限がないのは非常に困る。また、離島でのケアの推進となると、専門職が不在のため、事務方に頼らなくてはならないと回らなくなってしまう。 利用申し込みを行った施設の責任者(医師等)が、自施設の従業員に守秘義務を課するのは当然のことであり、その施設責任者のもとで適切に情報管理ができる体制を組んでいけば、国家資格を有さなくても情報を共有できるように、早急に検討していただきたい。	閲覧権限の拡大については、運営委員会で議論を行い、准看護師や栄養士への権限付与についても議題には上がった。しかしながら、ひとまずは国家資格を有する職種に限定して、権限拡大を行うことが決議され、平成28年7月から運用を行っている。 上記決議の際には、1年後をめどに、国家資格を有さない准看護師等に対して、雇用責任者である施設責任者・情報管理責任者が守秘義務を責任もって実施している場合は、これら准看護師等についても閲覧権限を許可していくという方針にはなっている。 今回のご意見を踏まえ、早急に検討していきたい。	2/24 笠岡第一
40	その他	そもそも地域単位である程度の医療機関数が晴れやかネットに参画していないと、シェアードの運用を開始しても意味がない。どの地域でどれだけの医療機関数が晴れやかネットに参画しているのか、については把握できているのか。	把握できている。しかしながら、まだまだ普及数は少ない状況である。	3/2 渡辺病院
41	費用	シェアード運用開始に合わせて会費を値上げすることはないとのことだが、晴れやかネットの利用参画者が伸び悩んでいる昨今、将来的にも会費が値上げされるということはないのか。	現状の会費額については、将来のシステムの機能拡張や更改に備えて、ある程度貯蓄ができる額でもって設定している。そのため、なるべく今後についても会費が上がらないようにしつつ、利用者にとってメリットを増やしていく整備を進めていきたいと考えている。 ただし、翌年度整備を検討しているシェアードでの画像共有機能については、ある程度システムの維持費がかかるという話もあるため、当該機能実装後にも会費据え置きが可能かどうかについては、断言はできない状況にある。	3/2 渡辺病院
42	その他	本気でシェアードを使って地域医療を良いものにしていくのであれば、晴れやかネットそのものの普及率が上がる可能性がある地域(医療機関数が多い地域)で取り組むべきである。そしてその地域での普及率をさらに高めていくことが重要である。 一方、このようなシステム機能を高めていっても、利用者側において実際の臨床現場においてどのように利用したらよいか、具体的なイメージが追いつかず、結果利用しなくなる、という事象も発生していることを理解しておいてほしい。そのことを踏まえて、丁寧に普及率の向上や機能整備に努めていっていただきたい。	貴重なご意見として参考にさせていただきたい。ご指摘の通り、システム機能を高めることを優先するのではなく、利用者目線に配慮しながら地域連携のあるべき姿を念頭に事業を進めていきたいと考えている。今後でも市区町村を回りながら、晴れやかネットそのものの普及率を上げる取組みをしていきたいと考えている。	3/2 渡辺病院
43	システム	晴れやかネットのID・PWさえ持っていれば、シェアードについては誰でも患者の情報を見に行くことができる、ということで理解はあっているか。	シェアードで公開された患者の情報については、ID・PWにてログインし、患者名や施設名などで検索を行うことで確認ができる。ただし、直接診療に関係していない患者の参照について不安視する声も聞かれたため、閲覧履歴を確認できるボタンを設け、不正アクセスの抑制を図ることとしている。	3/2 渡辺病院



No.		会場またはメール等による質問	回 答	
44	システム	電子カルテから情報を出す場合は、出す情報の項目を絞ることができるのか。	対応可能かについては、利用されている電子カルテベンダ次第で、できる場所あればできないところもある。レセコンについては、一括で情報を出力する構造上、出力する情報の項目を絞ることはできない。	3/2 渡辺病院
45	システム	通常レセコンは外部とのネットワークとは遮断しているのだが、今回の仕組みはアップローダーを通して外部ネットワークと接続するものと理解している。そうすると、よそから侵入を許す可能性も出てくることから、セキュリティ上怖い面があると思うのだが。	アップローダーを隔てて、施設側とマルチテナントサーバー側とのネットワークはファイアウォールで区切られており、またマルチテナントサーバー側に対しては一方向への接続しか許可していないこと、アップローダー・マルチテナントサーバー間のネットワークはVPNを張ることから、外部侵入による施設側への不正アクセスのリスクは限りなく少ない仕組みとなっている。 また、マルチテナントサーバーに上げる情報については、アップローダーへの出力の際にウイルスチェックを実施、さらにアップローダーからマルチテナントサーバー側への送信の際には暗号化の上XDSIに梱包することで、マルチテナントサーバー内で勝手に起動できない仕組みとなっている。これに加えて、マルチテナントサーバーから連携サーバーに情報を移動する際に、暗号化された情報の複合化に加えて、ここでもう一度ウイルスチェックを実施するため、トータル三重のセキュリティチェックを実施している状況にあり、センター側でウイルス感染等が起きる可能性もほぼゼロに近い状態にある。 非常に高いセキュリティの仕組みを採用している、ということをご理解いただき、安心いただきたい。	3/2 渡辺病院